

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
情報処理科											
Linux実習											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	菊池（一）、大村、村上			実務 経験	有	職種	システムエンジニア（菊池（一））、プログラマー（大村）、ネットワークエンジニア（村上）				
授業概要											
LinuxOSのインストールや環境設定を行い、Linuxコマンドなどを使った基本操作を学びます。											
到達目標											
サーバー系の業務で使用されるOSはそのほとんどがWindowsでないことをしっかりと理解し、LinuxOSの利点について説明ができる。また、LinuxOSの環境構築および、その運用方法について知識は当然として、具体的な操作が滞りなくできる。また、1つのディストリビューションを使用するが、その他のディストリビューションについても違いを理解する。											
授業方法											
LinuxOSを用いて、環境の構築から基本的な操作について実習しながら学んでいく。これにより、サーバー系の業務に就いた場合にも操作方法に困ることがでないレベルまで学習を行っていく。ただし、Linuxのベンダー資格取得までは到達しないので、環境構築の後のコマンド詳細などについては積極的に学習し、分からない点については授業内でも対応を行っていく。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
実機を操作をすることで身に付ける必要があるため、積極的に実習に取り組む姿勢を重視する。また、規律ある授業を行うため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。当然であるが、理由のない遅刻や欠席は認めない。また、ノートパソコンは必携であり、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
新Linux/UNIX入門											
回数	授業計画										
第1回	インストール										
第2回	ユーザ登録、ユーザと管理者										
第3回	ファイルとディレクトリ、パス										

第4回	ファイル操作(1)
第5回	ファイル操作(2)
第6回	テキスト処理とファイルアクセス
第7回	マニュアル表示とコマンド調査
第8回	プログラム管理
第9回	ユーザ・システム情報
第10回	シェル操作
第11回	コマンドの便利な使い方
第12回	ヒストリ、エイリアス、リダイレクト操作
第13回	高度なファイル操作(1)
第14回	高度なファイル操作(2)
第15回	総合問題 (プロジェクト環境整備)